令和元年度

森林環境譲与税に関する決算調査

(i)団体コード	(ii)都道府県名	(iii)市町村名	(iv)事業区分	(v)事業名	(vi)事業総額（千円）			(vii)当年度基金への積立額（千円）	(viii)事業内容	(ix)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	(x)実績																			(タ)その他	(xi)税導入の効果
											森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
					(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）				(ア)意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			(ク)その他	(ケ)事業体等への助成		(コ)研修、講習、求人イベント等		(サ)その他	(シ)研修や普及啓発イベント等		(ス)その他	(セ)公共施設等の木材利用		(ソ)その他		
												(イ)間伐(ha)	(ウ)除伐(ha)	(エ)その他（作業種、実績値を記載）	(オ)林道・林業専用道の開設延長(m)	(カ)森林作業道の開設延長(m)	(キ)その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)			
015181	北海道	利尻町	② 意向調査	林業振興事業	30	30	0		利尻町内の管理が行き届いていない民有林の所有者に対し、今後の管理や意欲について調査を実施し、来年度以降の事業に関するデータ収集を実施した。		37.32																				【ワンフレーズ】 税の活用により、 これまで手入れの行き届かない森林の37.32haのうち30.24ha(81%) の所有者18人の、森林の経営管理に対する意向を確認することができた。 【詳細】 我が町は、私有林が少なく、そのなかでも不在村所有者が多くい状況にあることから、本税を活用し、まずは現況の把握、所有者の特定に取り組んでいる。
015181	北海道	利尻町	⑲ 基金積立（木材利用等）	基金事業	220	220		220	利尻町においては、譲与税も少額となっており、単年度での事業が難しいことから、基金を積み立てて、木材普及等の事業を実施していく方針である。																						結果、18人（30.24ha）の意向を確認でき、今後自らでの整備も検討していく旨の回答もあったことから、本調査により、所有者への森林に対する意識付けができたことと思う。 当町においては、譲与額が少額であり、税を活用した森林整備が難しいことから、残額を基金として積み立て、令和２年度以降に基金を活用し、木材利用に関する事業を展開していく予定である。